

能登半島地震 現地応援報告

～相談支援専門員が見た能登地震発生3か月後の現地の様子～

美谷の里

相談支援専門員

鎧塚 勝徳

能登半島地震被災地支援の概要

被災地での戸別訪問活動について

概要版 令和6年能登半島地震における被災高齢者等把握事業実施計画（案）

事業目的

これまでの大規模な自然災害において、障害や病気が原因で声を上げることができないものや、意思決定に問題を抱えるものが、取り残される事案がいくつも発生した。そのため、福祉専門職が積極的に障害児者に対して、戸別訪問（アウトリーチ）を行い、被災障害児者の孤立防止や被災生活の悪化予防など、**長期間に及ぶであろう生活再建を支援する基盤（信頼）づくりを行うことを目的とする。**
一方、長期的な寄り添い、**伴走型支援が必要となった障害児者に対しては、必要な支援を提供する地元関係者へのつなぎなども行い、支援の切れ目を作らない体制整備**や人材育成も行うこととする。

事業実施背景

- ・これまでの大規模な自然災害では、避難所の環境に馴染めず急性期の支援を受けることができず、その後の生活再建も受けられない障害児者が散見されてきた。
- ・そのため、早期に集中的に障害児者の生活状態を確認し、支援が必要な方へは必要な支援を届けることが急務である。
- ・今回の地震では自主避難、1.5次避難、2次避難等、広域に被災者が拡散したため、被災者の地元自治体等が障害児者等の把握ができていない現状が特徴ともいえる。
- ・一方、長期的な寄り添い、伴走型支援が必要となった障害児者に対しては、必要な支援を提供する地元関係者へのつなぎなども行い支援の切れ目を作らない体制づくりも行うこととする。

事業概要

- ① 訪問方法：石川県の地元相談支援専門員など、土地勘や地域の社会資源に知識がある専門職と外部からの派遣相談支援専門員がペアになり戸別訪問する。（スライド）
- ② 調査対象：障害者手帳所持者 名簿は各基礎自治体から提供されたもの（ソートする場合もあり）を利用して行う。（スライド）
- ③ 調査内容及び様式：戸別訪問による調査内容 他団体との共通項目含む
1次訪問様式（別紙） 2次訪問様式 地元事業所
- ④ 調査スケジュール
 - ・金沢市拠点 2月1日から随時実施 1.5次避難所訪問から2次避難所訪問へ
 - ・穴水市拠点 2市2町、2月13日より実施予定

事業効果

- ① 障害児者の生活環境が激変したことによる、新たなニーズの掘り起こしが見込まれる。
- ② 災害復興住宅や民間賃貸借上住居などへの転居をすることが、自己の能力だけでは難しい方の支援につながり災害関連死や二次被害の低減につながる。
- ③ 日常生活において、本来は支援ニーズを有していても地域から孤立していた人の発見につながる。
- ④ 人々の生活が復旧し、復興へつなげていく過程で必要となる新たな地域づくりにつなげることができる。

事業終了後の息の長い支援につなげるための土台づくりに向けて

- ・本事業により、災害関連死や二次被害を予防し、調査結果を受けて地域別の被災者支援計画や復興住宅の供給戸数や必要な人員・予算の見通しに役立ただけでは被災地が疲弊する可能性が高まる。
- ・今後、何年かかるかわからない復興へ向けて、災害発生時より概ね3か月以内の間で集中的に行い効果的かつ効果的な事業実施に努め「**既存の一般施策への移行を含めた対応**」事業展開をすることが被災地の真のニーズになる。
- ・例えば、平時は新規の対象者（相談者）は一度に、10人も20人も生まれません。本事業により把握されて、いっぺんに掘り起こされ、「あとはよろしく！」と被災自治体だけでがんばるような事業になることは絶対に避ける。

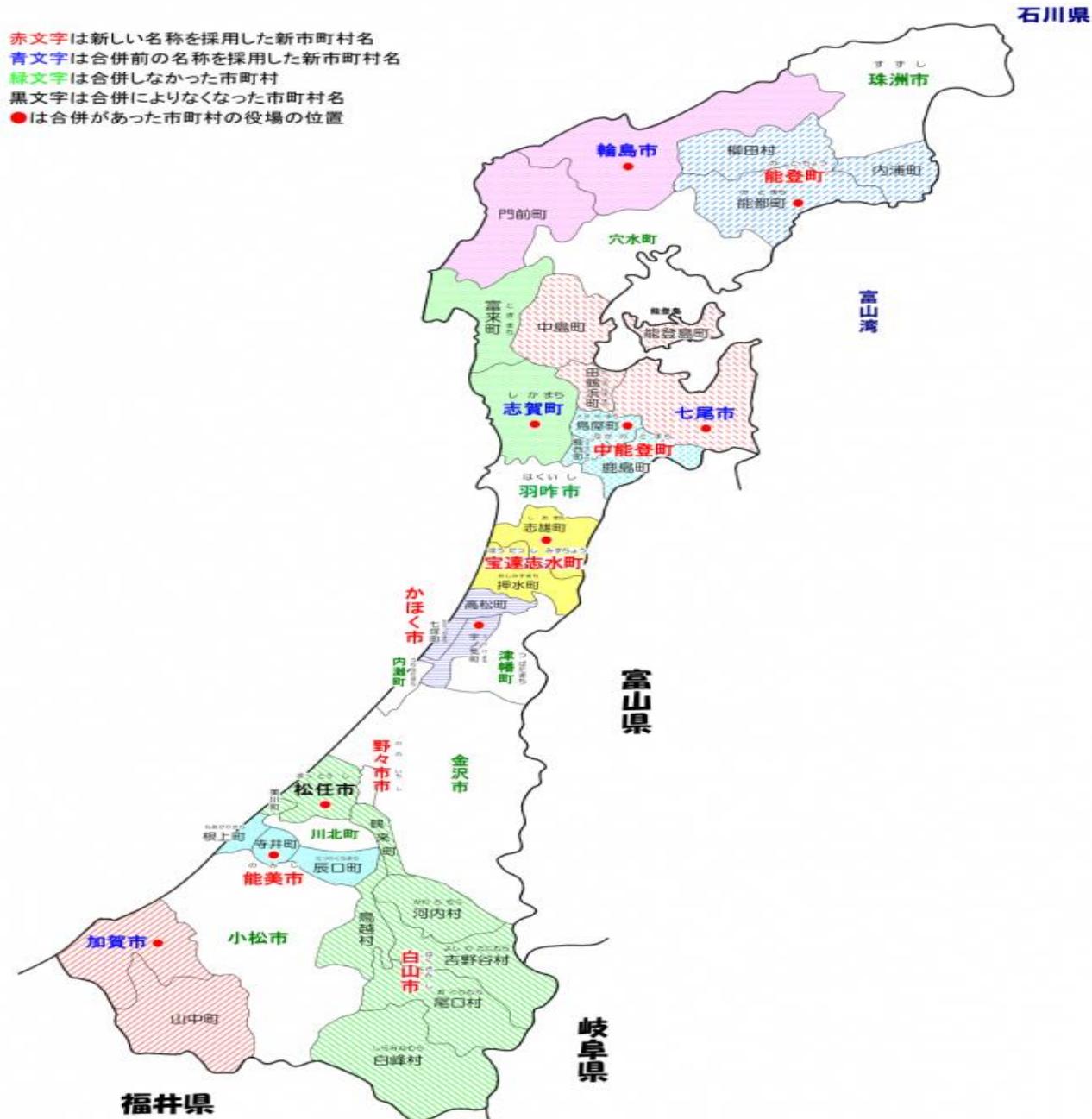
活動エリア

穴水町を拠点

実際の活動エリア

- ・ 輪島市（門前町以外）
- ・ 輪島市（門前町）
- ・ 能登町

石川県でも北部エリアで被害の大きかった場所となる。珠洲市については活動ができる状況ではないとの判断で応援には入っていない



期間中の構成メンバー

- ・ 期間中は常時20名ほどの相談支援専門員が活動
- ・ 宮城県、熊本県、石川県、福井県、富山県、兵庫県、愛知県、三重県、岐阜県から構成 ※岐阜からは同じ期間に鎧塚含め2名が参加
- ・ 遠方からは複数人がチームで参加
- ・ 県によって派遣期間は異なる。長い方で2週間
- ・ 石川県についてはISK（石川県相談支援専門員協会）からの依頼で参加されており、通常業務の中参加されており1日参加の方も多い

派遣者の活動拠点とその周辺

地域活動支援センター「ピアサポート北のと」

拠点施設の様子

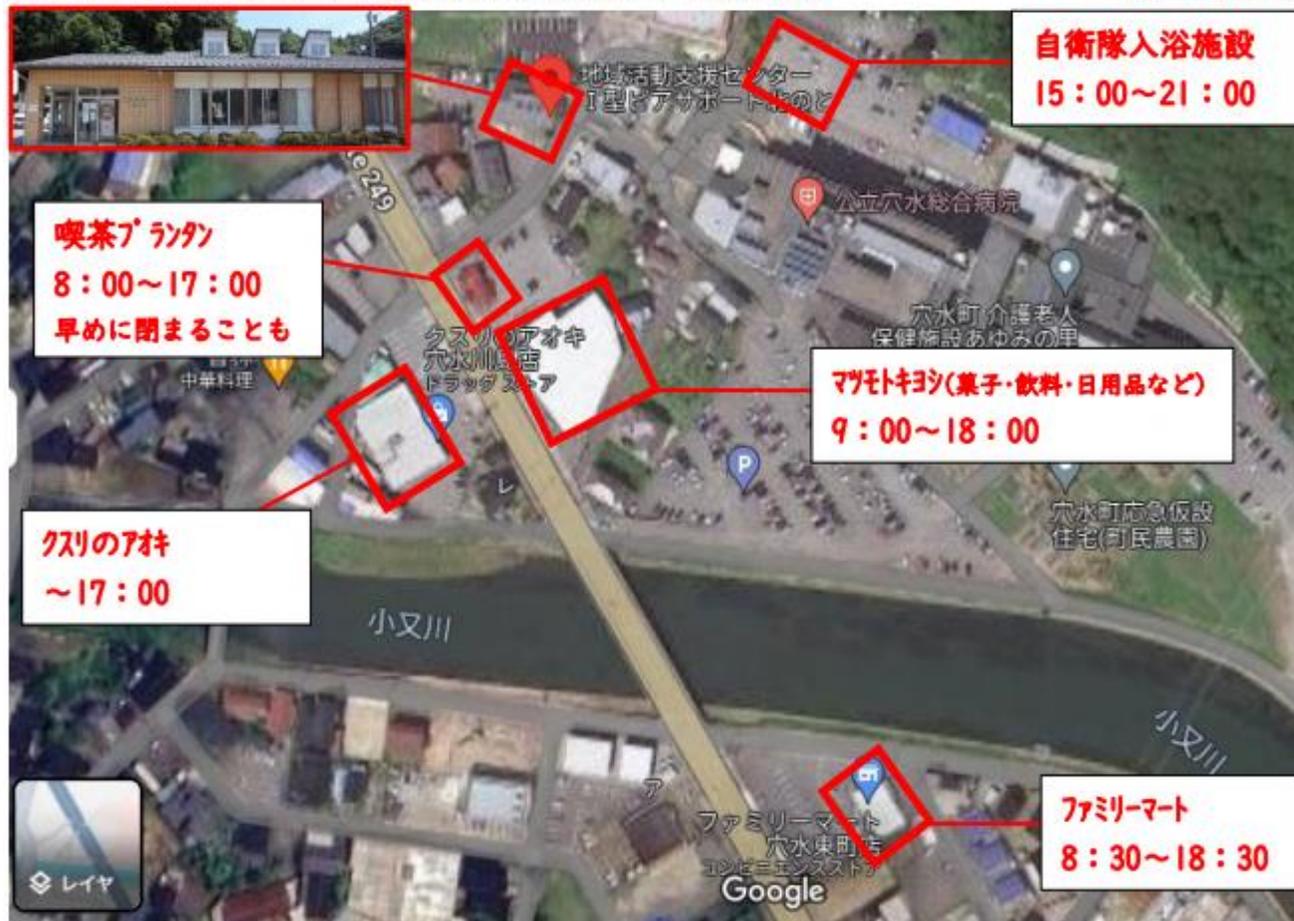
地域活動支援センター
ピアサポート北のと



穴水拠点と周辺の状況

A 拠点環境メモ (時間は、復旧状況により変化 ※確認要)

VOL.2(2.23)



○周辺環境

- ・夕方早めに閉まるが近隣にファミリーマート複数あり。飲料・食料は通常に購入可能
- ・輪島方面へ進むと「すし弁」という弁当屋あり(ラストオーダー18:30)

○入浴施設(現状毎日利用可能)

- ・徒歩3分程度の箇所に自衛隊運営の入浴施設あり。シャンプー、コンディショナー、ボディソープは、備え付けあり。※持参不要だが、タオルは要持参。待合場所にドライヤー・鏡1個備え付けあり



○拠点設備

- ・キャンピングカー:2名程度(ヒーター、コンセント、ポータブル電源)
- ・キャラバン:2名程度(ヒーター)
- ・寝袋:4個
- ・拠点内にも宿泊可能(和室、フローリング大部屋)
※和室については、女性優先
- ・冷蔵庫、電子レンジ、電気ポットは使用可能
- ・NSKのPC3台(日報等入力) ※日報は、USB管理であり持参すると便利
- ・トイレ使用可(男女別)
- ・洗濯機借りれるが干す所がないため、日数分の着替え推奨



実際の活動内容

①データ入力

拠点に残りこれまでの訪問者の記録をデータ入力する。

入力したデータは自治体と共有。また高齢者チームとも共有するデータとなる。一度入力すると修正が難しい

②マッピング

行政から要支援者台帳をもらい、その台帳の住所をもとに住宅地図から支援者の自宅を探す

③戸別訪問

マッピングされた地図と台帳情報を預かり、実際に戸別訪問をする。

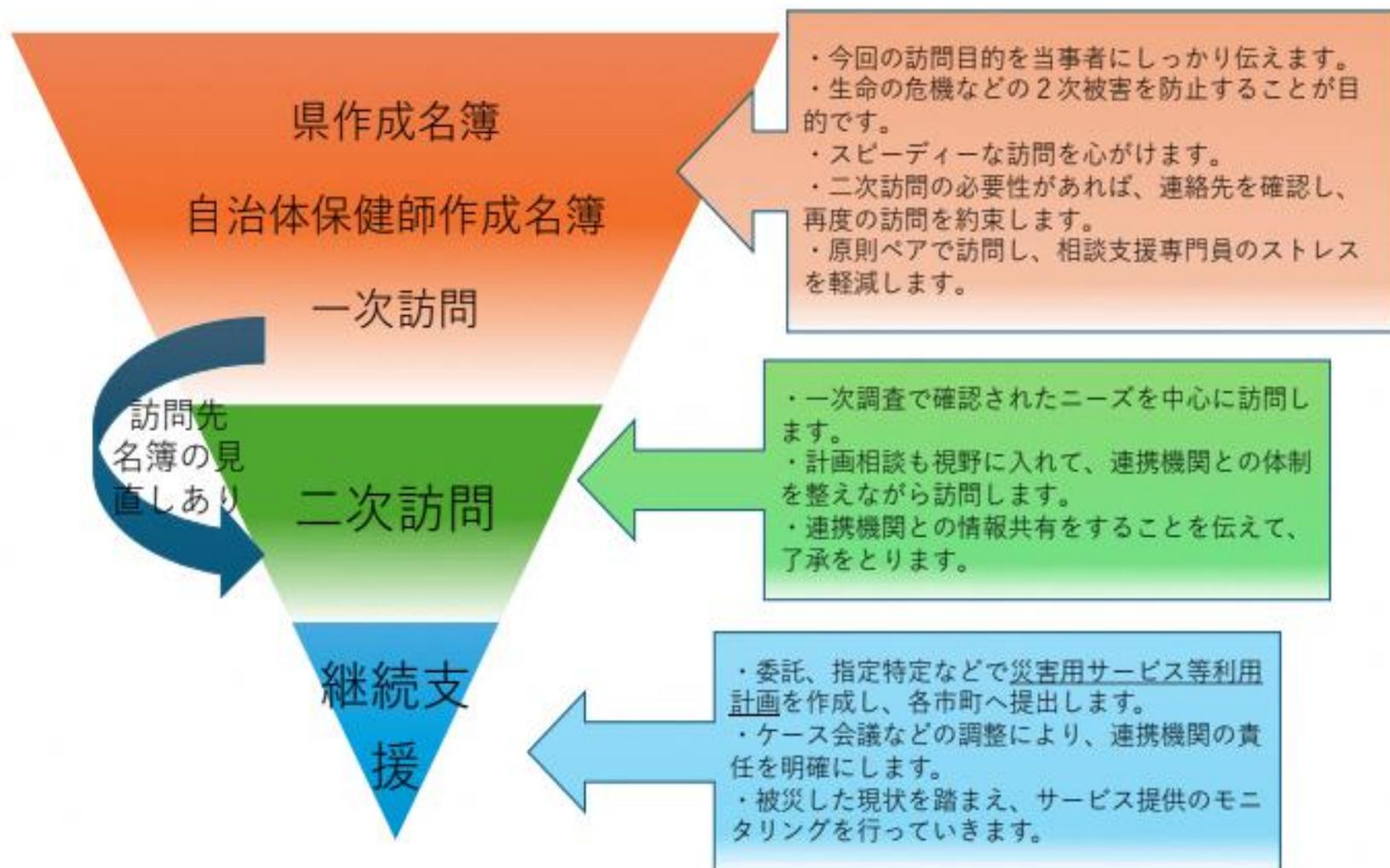
在宅の場合は受付カードをもとに現状の聞き取りを行う

派遣先での主な活動内容

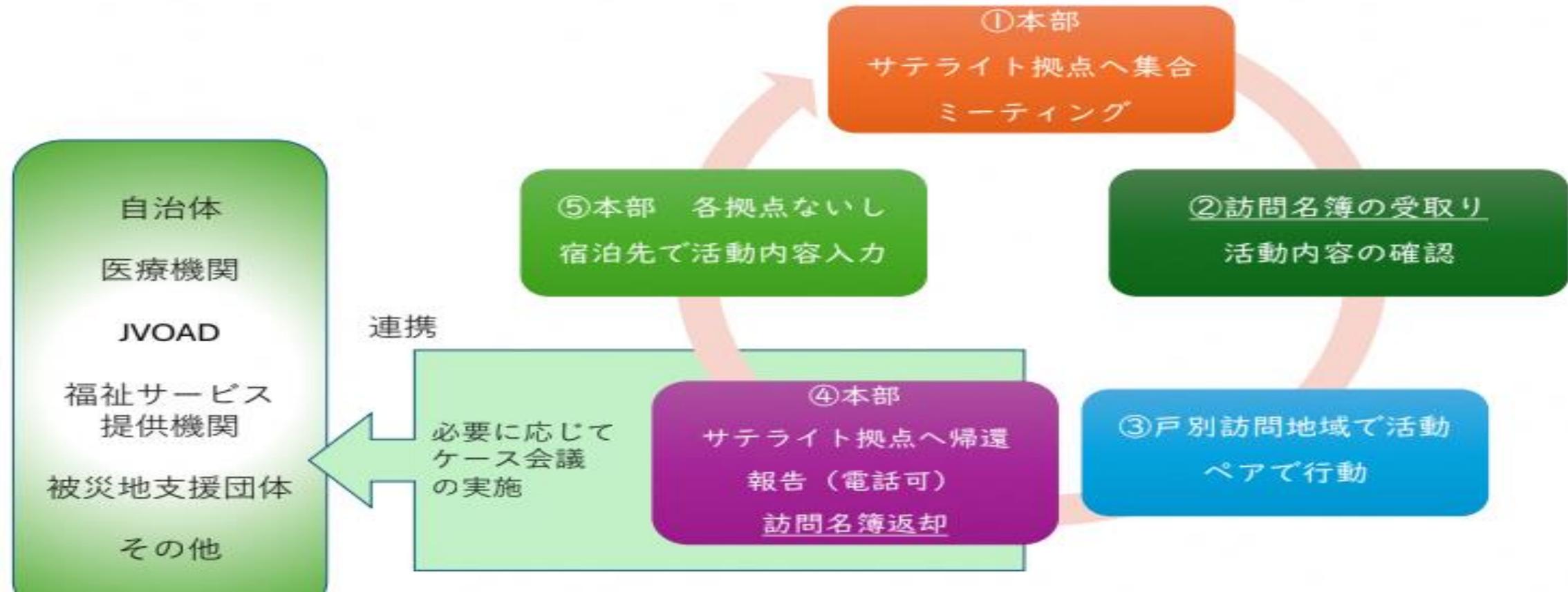
期間中の鎧塚の動き

- 3月3日（日）金沢入り（前泊）
- 3月4日（月）6時に集合（4名）。レンタカーに分乗し金沢から穴水へ移動。
8時40分頃に拠点「ピアサポート北のと」着。
この日は前週の活動報告をデータ入力
- 3月5日（火）能登町にて個別訪問
- 3月6日（水）～8日（金）輪島市内（門前町以外）にて戸別訪問
- 3月8日（金）活動終了（17時）後、金沢へ移動
- 3月9日（土）岐阜へ

戸別訪問の流れと留意事項



戸別訪問 1 日の流れ



1日の流れ

- 8：00 ミーティング その日の業務担当発表
- 8：30 それぞれの業務ごとに移動を開始
- 9：00 それぞれの活動地域の拠点でミーティング、活動開始
- 15：00 地域の拠点へ戻り情報共有
- 16：00 「北のと」に戻り日報記入と記録の提出
- 16：50 ミーティング 申し送り
- 17：00 業務終了

※データ入力担当者は朝のミーティング後「北のと」に残り、「北のと」にてデータ入力

被災者受付カード表

<記入者氏名： > 【様式】被災者受付カードv7(ver.20240211)

訪問地域： フルネーム！！ 記入日時 年 月 日
午前/午後 時

不在 訪問済み

被災者受付カード

回答者	<input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 本人以外（ご本人との関係：_____）		
世帯主確認	<input type="checkbox"/> この住所の世帯主 ○印は必須項目です！！ 記入漏れがあると、訪問結果をシステムに反映できません。 不在の場合のみ、氏名、性別、住所が記入されていれば登録可能ですが、近隣住民等がいたら確認してみてください。		
現在の避難場所	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 避難 <input type="checkbox"/> 自宅以外の個人宅（〒：_____） <input type="checkbox"/> 仮設住宅・みなし（〒：_____） その他（例：宿泊施設） <input type="checkbox"/> 住居系上の市町内（_____） <input type="checkbox"/> # の市町外（_____）		
フリガナ	セイ	メイ	生年月日 年 月 日
氏名	姓	名	性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> その他
住所 (住民票を おいて いる住所)	〒（_____）		
い ず れ か を 記 入	電話番号	<input type="checkbox"/> 携帯電話（_____） <input type="checkbox"/> 本人以外の連絡先の場合チェック（ <input type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> 知人 <input type="checkbox"/> その他） <input type="checkbox"/> 固定電話（_____）	
	メールアドレス	なし	<input type="checkbox"/> 連絡手段なし

1. 世帯のアセスメント調査

必要性確認	<input type="checkbox"/> 世帯主と同様のため記載不要
世帯の人数	<input type="checkbox"/> 1人 <input type="checkbox"/> 2人 <input type="checkbox"/> 3人 <input type="checkbox"/> 4人 <input type="checkbox"/> 5人以上の世帯
世帯の状況	<input type="checkbox"/> 高齢者（65歳以上）がいる <input type="checkbox"/> 高齢者のみ世帯 <input type="checkbox"/> 小中高生がいる <input type="checkbox"/> 外国人がいる
罹災証明	<input type="checkbox"/> 取得済み <input type="checkbox"/> 申請中・申請予定 <input type="checkbox"/> 申請しない
住家の被害状況	<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 大規模半壊 <input type="checkbox"/> 中規模半壊 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 準半壊 <input type="checkbox"/> 一部損壊 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明
家屋の種類	持ち家 <input type="checkbox"/> 一戸建て <input type="checkbox"/> 集合住宅 賃貸 <input type="checkbox"/> 一戸建て <input type="checkbox"/> 集合住宅（民間） <input type="checkbox"/> 公営住宅 <input type="checkbox"/> その他（_____）

被災者受付カード裏

<記入者氏名： >

【様式】被災者受付カードv7(ver.20240211)

復旧していない ライフライン	<input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> インターネット通信
避難先の希望	<input type="checkbox"/> 1.5次及び2次避難所（ <input type="checkbox"/> 申込済み <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない <input type="checkbox"/> わからない） <input type="checkbox"/> 仮設住宅（ <input type="checkbox"/> 申込済み <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない <input type="checkbox"/> わからない） <input type="checkbox"/> みなし仮設住宅（ <input type="checkbox"/> 申込済み <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない <input type="checkbox"/> わからない） <input type="checkbox"/> 公営住宅（ <input type="checkbox"/> 申込済み <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない <input type="checkbox"/> わからない） <input type="checkbox"/> 親戚、知人、友人宅に行く <input type="checkbox"/> 無し
食事	<input type="checkbox"/> 問題なく食事を摂れている <input type="checkbox"/> 調理環境がなく、自炊できない <input type="checkbox"/> 弁当やパンなど支給される食事のみ <input type="checkbox"/> 要配慮食（糖尿病食、減塩食等）が手に入らず困っている <input type="checkbox"/> その他（ ）
生活費	<input type="checkbox"/> 就労・自営業当により収入あり <input type="checkbox"/> 年金で生活 <input type="checkbox"/> 預貯金で生活 <input type="checkbox"/> 求職中 <input type="checkbox"/> 生活保護等の支援を受けている <input type="checkbox"/> その他（ ）
移動	<input type="checkbox"/> 特に困っていない <input type="checkbox"/> 移動手段がなく困っている（ <input type="checkbox"/> 通院 <input type="checkbox"/> 通学 <input type="checkbox"/> 買い物） <input type="checkbox"/> その他（ ）

2. 個人のアセスメントの調査

要配慮事項 (任意)	<input type="checkbox"/> 病気・怪我 <input type="checkbox"/> 妊産婦 <input type="checkbox"/> 乳幼児 <input type="checkbox"/> 障害者（身体） <input type="checkbox"/> 障害者（知的） <input type="checkbox"/> 障害者（精神） <input type="checkbox"/> 要介護 <input type="checkbox"/> 医療機器 <input type="checkbox"/> アレルギー <input type="checkbox"/> ペット <input type="checkbox"/> DV <input type="checkbox"/> 虐待 <input type="checkbox"/> 外国人 <input type="checkbox"/> その他（ ）
医療的サポートの 利用の有無	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 在宅酸素 <input type="checkbox"/> 透析 <input type="checkbox"/> インスリン注射 <input type="checkbox"/> 緊急性ある精神疾患 <input type="checkbox"/> 緊急性ある歯科疾患 <input type="checkbox"/> 緊急で処置が必要な妊婦 <input type="checkbox"/> 定期的投薬が必要（現在 <input type="checkbox"/> 中断 <input type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 降任薬 <input type="checkbox"/> 向精神薬 <input type="checkbox"/> その他） (医薬品名：)
かかりつけ 医療機関名	
要介護（支援） 認定の有無	<input type="checkbox"/> 有（ <input type="checkbox"/> 要支援1 <input type="checkbox"/> 要支援2 <input type="checkbox"/> 要介護1 <input type="checkbox"/> 要介護2 <input type="checkbox"/> 要介護3 <input type="checkbox"/> 要介護4 <input type="checkbox"/> 要介護5 <input type="checkbox"/> 介護区分不明） (利用している居宅介護支援事業所名：) <input type="checkbox"/> 無
障害等手帳の有無	<input type="checkbox"/> 有（ <input type="checkbox"/> 身体障がい者手帳 <input type="checkbox"/> 精神障害者保健福祉手帳 <input type="checkbox"/> 療育手帳） <input type="checkbox"/> 無
介護・福祉サービ スの利用の有無	<input type="checkbox"/> 有（ <input type="checkbox"/> 被災前と変わらず利用の見通しが立っている <input type="checkbox"/> 利用の見通しが立たない <input type="checkbox"/> わからない） (利用している事業所名：) <input type="checkbox"/> 無
再訪問の必要性	<input type="checkbox"/> 一週間後頃 <input type="checkbox"/> 二週間後頃 <input type="checkbox"/> 一ヶ月後頃 <input type="checkbox"/> 三ヶ月後頃 <input type="checkbox"/> 無し
特記事項/ 調査員所感	

ご提供いただいた個人情報は、令和6年能登半島地震に関して適切な支援*1、情報提供*2を行う目的で、被災市町、広域避難者の受入市町村、都道府県、民間の支援団体等に必要な範囲で共有することに同意します。

*1 石川県地域防災計画における被災者への支援（義援金配分・安否確認 等）、*2 各種支援制度の周知 等

被災地戸別訪問の実際

能登町、輪島市（門前町以外）の訪問活動

能登町 3/5

- 「北のと」の相談支援専門員2名と三重県からの派遣者、鎧塚の4名が能登町担当。2名ずつの2チーム編成でエリアを分けて訪問
- 能登町は1次訪問が済んでおり、1次訪問で不在だった家と1次訪問で再度訪問が必要と判断された家を回る
- 電気は復旧しており水道も比較的復旧しているところが多い
- 9件訪問し不在が4件

輪島市（門前町以外） 3/6～3/8

- 地元ケアマネと相談支援専門員とでチーム編成
- 高齢者、障がい者関係なく要支援者を訪問する
- 訪問件数、エリアが広く先が見えない
- 水道が普及していない箇所がほとんど
- 半壊、倒壊の家も多く、訪問しても住める状況でない箇所が多い。また道路も寸断されており行きつけない箇所も多数
- 1日10件前後訪問するが半分が不在、面会できたうちの2/3が高齢者、あとが障がい者という印象
- 途中JVOADが参加

現地の実情

～被災地訪問から見えた現地の姿～

- 家屋調査で「危険」の赤紙が貼られていてもそこに住む人たち
避難所から戻ってきた人達も
 避難所に馴染めない、受験が・・・理由はそれぞれ
- 避難したくてもできないそれぞれの事情
 牧場を営む高齢夫婦
- 当然避難所から通勤をする人もいれば、精神科受診ができず薬を飲んでいない人も
- 被災地で数多く見た謎の白い建物「インスタントハウス」

活動中医療ケアが必要な方、車椅子などを必要とする身体障害者の方にはほとんど出会わなかった

→確認はできていないがすでに避難所や病院等に避難していると考え

残っている要援護者は高齢の親と知的、精神障害の子供というケースを多く見た

→避難情報などの情報を入手することが苦手

→周囲に対する敵対的な思考、助けを求めることの不得手さ

→意識的に訪問をしないとますます孤立を招く

活動を終えて

つれづれなるままに、心にうつりゆくよしなしごとを、
そこはかたなく書きつくれば・・・

被災地支援を受け入れる準備とは

- 誰も経験がない どこが主体になるのか
- 指揮系統が迷走すると時間だけが過ぎていく
- それぞれの団体が動くのか、協同するのか
- 大規模災害では自分たちも被災者になる
- 受け入れを想定した事前準備は何が必要か？
- 関係機関とのすり合わせは？

いろいろと思うこと、考えたこと

- 複数組織が交わると「船頭多くして・・・」
- 組織の文化が違うことでの行き違いをどう埋めるか
- 行政の協力姿勢の違いで訪問業務の効率は大きく変わる
- 大規模災害における避難をどう考えるか
- 公助 共助 自助
 - どれが大事ではなくすべてが大事
- BCPは共通の前提があるのか
- 災害関連死、避難中の事故

いろいろと思うこと、考えたこと その2

- 電気と水道
- いつか来るかもしれないその日に備えることの大切さ
日々の積み重ね、できることからコツコツと
- 非常持ち出し袋はどこにあるか
- 車で本当に避難ができるのか
- ドラッグストアとコンビニはすごい
- ドラッグストアとコンビニで働く人はすごい

いろいろと思うこと、考えたこと その3

- 生活が続けている人たち
- 非常時における「地域」の連帯感
- 地域におけるケアマネさんの存在を再認識
- 疲弊する人を作らないためには
- 訪問することの意味
- 災害はつらいが、全てがつらい事ばかりではないかもしれない